

平成26年度 第1回印西市入札等監視委員会会議要旨

- 1 開催日時 平成26年7月10日(木)
午前10時00分から午前11時45分まで
- 2 開催場所 市役所 会議棟201会議室
- 3 出席者 瀧 和夫 委員、高城 龍夫 委員、仲田 一元 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 新井総務部長、染谷管財課長、林主査、大野主査補、立原主任技師
- 6 議 題 1. 議事
2. その他
- 7 議 事

(議事 (1) 平成25年度下半期の入札手続き状況について)

議長 これより、平成25年度第2回印西市入札等監視委員会をはじめ。はじめに、平成25年度下半期の入札手続き状況について、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局より「平成25年度上半期の入札手続き状況について」説明】

議長 続けて、事前に抽出した入札案件の状況について、事務局より個別に説明をお願いしたい。

《 小倉青年館解体撤去工事 》

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

議長 落札率が55%となっているが、工事に支障はなかったのか。

事務局 解体工事については、昨年度、今年度と実施しているが、非常に低い価格で落札されている。当該案件については予定価格が最低制限価格の設定基準に満たないため、設定していない。そのため、落札率が低くなったものと考えている。過去の解体工事では多数の業者が最低制限価格を下回り失格となっている。何が原因かということにはわからないが、解体工事については、全体的に安い価格での入札となっている。

議長 市の設計価格と実際の落札価格に差がある。市が望んでいるものを、業者が見落として低い落札価格となっていることはないか。例えば、アスベスト処理を見落として、低い金額で応札するということはないか。

事務局 アスベストについては基本的には担当課で把握しており、もし、現場で使用が確認された場合も、対応方法を打合せして進めていると聞いて

- 議長 市が考えている解体方法と、実際に業者が行うものと、違うところがあると思うが、粗雑な方法で行われることはないのか。
- 事務局 基本的な解体方法は、図面等で指示されていると思っている。例えば、地下構造物であれば、矢板による仮設を行う、高いものであれば足場を組んで解体するなど、基本的な方法を指定や、仕様等で規定しているものもある。そういった場合は、設計に準じた方法で行われていると考えている。ただし細かな部分の施工方法は、業者の裁量で行っている場合があるので、業者の考え方で行っていると思う。最終的な処分については、既定の処分方法で処分していることを確認している。
- 議長 この委員会では落札というところまでだが、その後、適正に行われているか、市が考えているとおりに行われているのか、その辺りのところはどうか。
- 事務局 担当課で各工事に監督員を選任し、逐次、確認を行っている。最終的には、完了検査を行っている。
- 議長 粗雑な扱いをして終わってしまうということはないか。
- 事務局 処分についてもマニフェストで全て管理されているので、適正に専門の処分地で運搬され、処分されたことを確認している。
- 議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

〈 印西市立保育園保育士派遣業務 〉

- 議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。
- 委員 時給1500円ということだが、最終的に本人に支払う賃金がそのくらいというイメージを持っている。不調になるのもわかる気がする。新聞記事等では7割程度が本人に支払われるということだが、1000円ということであれば、予定価格が低すぎるのではないか。
- 事務局 単価については担当課に確認したところ、見積りを取得して設定していると聞いている。2回目については、時期的なものもあって価格を見直して発注している。
- 委員 5人の補充が必要で、結果として職員や非常勤職員で対応したということだが、その場合の単価を出したらどうなるのかなとも思う。
- 事務局 この案件については、もともと4月に入札を行った際は、落札価格が1321円であった。そういった実績もあったことから、設計価格を設定したのと考えている。
- 委員 仮に業者の立場になって、3割が業者の報酬として考えた場合、手間暇かけた報酬として見合うものになるのかと思う。
- 議長 現在はこの案件はどういう状況になっているのか。
- 事務局 平成25年度は、年度当初に落札されて、さらに不足分を追加分とし

て発注したものが、落札されなかったために、非常勤職員等で内部の者で対応したと聞いている。年度途中ということもあって、業者が対応できなかったのが主な理由だと思っている。平成26年度分については、年度初めに発注しており、受注され、委託契約が締結されている。

議長 平成26年度の業者はどうなっているか。25年度の業者と同じか。
事務局 入札の結果、同じ業者と契約している。
議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 木下地区雨水排水整備工事（その1） 》

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。
議長 タイトウという業者が2回目の入札に参加しているが、自己資本額や完工額に間違いはないか。
事務局 千円単位で記載しているが、単位が抜けている。
議長 職員数7名というのは、技術者数か、職員数か。
事務局 工事の場合は、技術職員数を記載している。
委員 不調になった原因は、日程的な問題か。
事務局 あくまでも推測で実際のところはわからないが、この頃に大雨等もあり、災害復旧工事等が市内や近隣市町村でも発注されて、かなり工事が多くなっていた。また前年度から引き続き、除染工事等も実施されていたので、業者内で新規事業を受ける余裕が無かったところもあったのではないかと考えている。
議長 正式に辞退するとき、書面には辞退理由は記載されていないのか。
事務局 主に辞退理由は、自社の都合というのがほとんど。技術職員が少ないというのもある。
議長 今後の参考となるように、辞退理由をきちんと記述してもらった方がよい。
事務局 電子入札のシステム上、開札まで進めば、辞退理由はわかるが、開札前に応札業者が1者で入札中止とする場合は、辞退届を確認することができない。千葉県下で複数の市町村が使っているシステムなので、システムの見直しを要望したい。確認できた中では、会社の都合や技術者不足、他で受注したからという理由等がある。
議長 市として改善を要する様な理由が出てくれば良いと思う。
事務局 その点については、検討して参りたいと考えている。
議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 印西市デジタル航空写真撮影業務委託 》

- 議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。
- 議長 この案件のみならず、測量関係は落札率が高いのではないかと。他のものと比べると競争性がもっとあってもおかしくないと思う。測量という業種の作業方法に違いがないものなのか。
- 事務局 落札率は入札の結果としか言いようがないのだが、予定価格を下回っているのだから、高い安いとは言い難いと思っている。積算については、千葉県の積算基準があるので、県内どこでもある程度同じ積算になる。特に設計の見込みが高いとか低いとかいうことではないと考えている。
- 議長 工事であれば、施工方法を少し工夫することによって、積算価格が変わってくることもあり得るのだけれど、測量の場合にはそういったところがないということか。
- 事務局 ある程度、決められた枠の中で進めざるを得ないのではないかと。確かに工事であれば、新しい工法を導入して新しい技術で施工するということがあるかもしれない。
- 事務局 使う機材も人件費も日数もそんなに大きく変わる様な性質のものでもないと思う。そのため、大きな差が出る様な仕事ではないと考えている。
- 議長 年に一回、航空写真を撮っている会社があると思う。そういったものを利用して、撮影をする必要がないから安くなるということはないのか。目的が違うから別ということになるのか。
- 事務局 それを利用できたとしても、それなりの価格での契約になると思う。
- 議長 航空写真一枚でも購入はできると思う。購入して、整理して、図面を書くとなるとまた別なのかもしれない。
- 事務局 測量図は目的に応じて求める精度等の仕様が違うところがあって、必ずしも航空写真を転用できるというものではないのではないかと。各市町村で撮影するものはそれぞれの仕様があるため、各自治体での発注になっているのだと思う。業者もその仕様に合ったものがあれば良いが、転用できるものが無いのではないかと。
- 議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 (仮称) 21住区小学校等建築工事 》

- 議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。
- 委員 制限付き一般競争入札参加資格確認書の自己資本額と完工額のところの金額が、自己資本額が千円単位だと桁が違っているのではないかと。売上と資本が同じ額ということはないのではないかと。
- 事務局 先程の案件と同様で、この別記第5号様式については金額の記載単位は入っていないが、自己資本額と完工額については、円単位の様にも

見えるが、千円単位での記載となっている。

委員 そうすると、自己資本額がすごい金額になる。円単位であればそうかなと思う。例えば新日本建設は289億円の自己資本額ということになる。売上と同じということはあるのではないかな。

事務局 記載内容については、再度確認させて頂く。

議長 確認書に単位を記載した方がよい。

事務局 わかりました。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 印西市立中学校自動対外式除細動器（AED）購入 》

議長 何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員 一般競争入札参加資格確認書のフクダ電子南関東販売の記載だが、自己資本額がマイナス5億円ということは、相当な債務超過だと思う。私としては想像がつかない。

事務局 確かに大きな会社だが、平成24・25年度分はそういった報告だった。完工額が大きいということもある。

議長 自己資本額がマイナスの場合、今までの経営状況がどうなのかとか、そういった調査は行っているのか。

事務局 そこまでの調査は実施していない。指名に当たっては、自己資本額を確認したうえで指名をしているが、国・県からの通知では自己資本額だけで指名から外すことは芳しくないとあるので、参考とはしているが、それだけで決めているということではない。

議長 そうすると、会社がつぶれてしまう可能性もある。そうなったときにアフターサービスの問題が出てくると思うが、確認はしているのか。その時はどこに引き継ぐ様にお願いすることになっているとかそういったものがあるのか。

事務局 当該事業者のアフターサービスの体制の報告で、その会社が潰れてしまった時までの報告はもらっていない。

事務局 この案件については、この事業者は販売業者で、アフターサービスという点では変わってくる可能性はあるが、別にメーカーがいるので、直接的な影響はないと思う。

議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

《 平成25年度下期 低入札案件調査、入札中止・不調後の手続き 》

事務局 尚、平成25年度下期 低入札案件調査について、内容等に企業秘密を含んでおり、非公開として欲しいという意見がありましたので、一部の資料を非公開として宜しいでしょうか。

【委員了解】

- 議長 よろしい。何か質問、意見があれば、お願いしたい。
- 委員 コピー機の予定価格はどうやって決めるのか。
- 事務局 基本的に見積りを取っているが、入札の際に更に価格を下げて入札されるケースが非常に多いので、過去の実績等を踏まえて査定した形で設計を組んでいる。
- 委員 定価ではないということか。
- 事務局 定価ではない。更に精査をするが、それでもそれより低くなっている。
- 委員 我々がコピー機を買っても、だいたい半値くらいになる。安くて当たり前だと思う。特に異常があるわけではないと思う。
- 議長 これはリースとかレンタルではなく買い取りか。
- 事務局 買い取りで保守契約も合わせて契約している。
- 議長 低入札の物品や工事で、修理可能なものを修理して供給するから安くなるのか、そういったことはないか。
- 事務局 リサイクル品を認めている。
- 議長 そうすると予定価格の積算の仕方が相当違ってくるのではないか。新品とリサイクル品とでは全然変わってくるのではないか。それを一つの入れ物で競争させることに問題はないのか。
- 事務局 リサイクル品を認めただうえで、見積りを取っており、過去の実績を査定の中で適正と思われる価格を予定価格として設定している。
- 議長 特にコピー機等は、基本的にリサイクル品が入ってくるという見方で良いのか。
- 事務局 保守契約も合わせて契約し、故障等の対応をしてもらっている。今のところ、リサイクル品でも支障は出ていない。
- 議長 低価格というのもある意味で当然であるということか。以前、1円入札というのがあったと思う。
- 事務局 印刷機で保守契約をせずに機器単体での入札となるとそういう状況になったことがある。現在は消耗品を含めて入札をしているので、今は1円入札というのではない。具体的な結果は持ち合わせていないが、低入札にもなっていない。
- 議長 この委員会では、1円入札というのはいかに酷すぎるのではないかとということで、その時にインク代とか紙代で、本来の収益を得られるという説明だった。そういった物も含めて価格として見た方が良いのではないかとさせてもらった。今はそれに準じた形になっているのか。
- 事務局 印刷機器で使用する全ての消耗品を合わせての入札でということではないが、機器とある程度の消耗品を合わせて発注はできている。
- 議長 工事についても同じように、例えば、街灯をLED照明に交換するときには既設の照明が使用できるものだったら、それはどこかへ持っていきける。そういった修理品の様な物が工事で使用されるのか。

- 事務局 発注する際に規格を決めており、完了検査で仕様のもものが納品されていることを確認している。
- 議長 使える物をごみとして出すよりも、再利用した方が良い気もする。
- 事務局 この案件の改修内容がわからないので何とも言えない。
- 事務局 確かにLEDに変換をする際に、中には他に回した方が効率的な場合もあるかもしれないが、ランニングコストの関係からLEDに変換していることは事実だが、再利用を実施しているとは確認をしていない。
- 議長 市の工事としては認めていないということか。
- 事務局 そう考えている。切り替えのタイミングで、個々の器具にサイクルの長短が生じてくるのはやむを得ない中で、逐次変換しているということだと考えている。
- 議長 まだ使えそうな物は民民の間でやって欲しいということになるのか。
- 事務局 市の物を安い値段で払い下げるとか、そういうところまではやってはいないが、そういう風にすれば、民民でそれが流通して使える様にはなると思う。
- 議長 あと低価格で受注できた理由だが、企業努力により経費を抑えたところがあるが、これくらいしかもう聞けないのだろうか。
- 事務局 それに尽きるという話で、企業秘密ということだと思ふ。
- 事務局 その業種、業態によって収益をどう生み出すかは、コピー機のように、単体で物品ではなく、継続して使用することで備品、消耗品等や保守契約で利益を生み出すという構造の業態がある様に、一概に言えないので、極端に言えば1円入札の様なもの、公契約の中ではできるだけ少なくしていく努力はしていきたい。
- 議長 市の発注業務に何らかプラスになる様な理由や改善点が出てくる様にしていくということが必要かと思ふ。
- 事務局 予定価格に世間一般での値段をどれだけ加味できるかというところにかかっているのかなと思ふ。そのためにもご指摘のとおり業者さんからの聞き取りなど、もっと予定価格を精査する可能性を追求できればと思ふ。
- 議長 すぐにどうということではないけれども、ご検討頂きたいと思ひます。
- 議長 その他、質問や意見はあるか。よろしいか。

【委員了解】

（議事 (2) 入札制度の改正について）

【事務局より「(2) 入札制度の改正について」説明】

事務局 尚、低入札調査制度・最低制限価格制度等の資料について、他市の状況について、一般には公開していない情報も含まれているということでございますので、非公開としてさせて頂きたいと考えております。非公開として宜しいでしょうか。

【委員了解】

議長 よろしい。何か質問、意見があれば、お願いしたい。

委員 緑地管理をみると、予定価格の70%になると考えれば良いのか。今まではだいたい平均50%弱だけど、それが70前後でという形にするのか。

事務局 今年度、既に緑地管理関係の業務は年度当初に発注している。失格等も多く出ているが、ほぼ落札価格では70%付近に集まる結果となっている。次回、データとしてお見せすることができると思う。

議長 最低制限価格のパーセンテージは公表するのか。

事務局 パーセンテージは公表している。予定価格は事前公表していないので、最低制限価格までは業者の方はわからない。

議長 今後の印西市の方向性を決めていくものになっていきますので、できたらご意見をお願いします。

委員 私は緑地管理に関しては妥当だと思う。あまりこれ以下だと業者の方もやっていかれないのではないかと思う。20社もあれば、主要な産業ではないか。

議長 緑地管理の業者の方々は厳しい競争していたのが、ある程度、余裕を持って競争できるという意味では非常に良いことではないかと思う。住み心地の良い街をつくるうえで、緑はどうしても必要になるし、緑が乏しいと人も集まらなくなる。そういう意味では良いことだと思う。印西市では今後、造園関係以外に仕事として増えていく様なものはあるのだろうか。そういうものに同様の措置をしておく必要があるのではないか。

事務局 これまで千葉ニュータウンを整備するために、URと企業庁が市と協力しながら、街づくりを進めてきた。整備された道路や公園緑地等の移管が今後も予定されている。それらの公共財産を市が維持管理するために維持管理委託は増加するものと考えている。印西市としては維持管理にどれだけの資金を費やすことができるのかということ慎重に考えながら行財政運営をしていくことだと考えている。

議長 私のいうことではないが、維持管理をするために費用をどこから捻出するか、その仕組みづくりをしなければいけないと思う。単に受注できれば良いではなくて、皆さんがここで生活できる様なそういった形を創っていかなければいけないのではないかと思う。そのための最低制限価格として設定していかないといけないのではないかと思う。

- 事務局 議会等の議員さんからのご質問でも、単なる地元業者の育成ということではなくて、地域が自ら潤っていく、地域の力を高めていくという様な全体の制度に対する考え方というのを持っているの、これからその点を強めていきたい。
- 事務局 先程の自己資本額の件ですが、いくつか確認をしたところ、こちらでのデータの転記に誤りはなかった。申請自体で桁を間違えている可能性は秘めている。
- 議長 そういった場合、どういう取扱いになるのか。虚偽の申請ということになるのか。
- 事務局 今の話は可能性の話で、明らかにおかしい場合については、チェックをしたいと思います。
- 議長 他の市町村で、例えば専従の資格者が資格を取った日付が指定された期間よりも短かった。それだけでこの業者はだめとしている。
- 事務局 資格者がいることというのが前提であれば、期間に違いがあってもその期間では認められないということであれば、重いペナルティになることもある。
- 議長 その他、質問や意見はあるか。
- 【委員了解】
- 議長 本日の議事は終了する。
- 議長 その他、委員、事務局で何かあるか。
- 事務局 次回の監視委員会について平成26年11月中旬に開催させていただきたい。後日照会させていただく。
- 議長 以上で会議を終了する。

平成26年7月10日に行われた印西市入札等監視委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員

龍 和 夫